

# ベスト フレンズ

No.18

箭山如水会福岡支部便り



BEST FRIENDS

平成31年3月発行

## 箭山如水会福岡支部

支部長 中野 久米夫

事務局 : 千813-0001

福岡市東区唐原3-9-2 城戸崎方

TEL 092-672-5764

編集責任者 城戸崎 重夫

### ■ 同窓会へのお誘い

支部長 中野久 米夫 (45年商業科卒)

【第8回福岡支部総会開く】

--- 総会へお出掛けしませんか !! ---

昨年の福岡支部は平成30年5月19日(土)ソラリア西鉄ホテルに於いて、第8回総会を開催したところ、総勢35名内訳では会員の参加者は24名、前年より4名減で来賓者11名という結果になっています。年4回役員会議で会員増強の議論をしていますが、これといった特効薬がなく、成果が思うように出てきません。理由としては今まで参加していた人が高齢になり、体調不良のために出席出来ないのと新しい参加者が思うように増えず、又社会現象で定年延長、個人情報の問題もあります。懇親会のやり方でこの2年余興を少なくして、お互いの情報交換を主としましたが、いかがでしたでしょうか。第9回総会が来る31年5月18日(土)

前年同様、ソラリア西鉄ホテルにて開催します。従来と同様、母校の校長先生をはじめ同窓会本部、各支部の方々の出席を予定しており、それぞれの最新情報(ふるさと情報含む)を聴けるなど年一回の機会です。そこで「ベストフレンズ」ご覧の方々は是非一度、総会への出席を節にお願いしたいのと、今年は皇位継承の年で新元号となり、何ごとも新たな動きで一人では、来づらい方は同期の方をお誘いしていただき一度、参加して実感して頂きたいと思ますし、尚一層、総会が盛り上がるのではと思っています。母校のホームページ等で本部並びに各支部等の情報が入手出来ますし、いろんな提案・意見・疑問あれば、事務局にご連絡して



て頂ければ幸いです。福岡支部としての活動は現在、ゴルフ会、秋の一泊又は日帰り旅行等実施しています。参加人員が増加すれば、いろんな趣味の会が広がるのではないかと思います。最後に今一度「総会来てみんな」役員一同お待ちしております。

### 箭山如水会福岡支部の平成30年度活動状況

年月日	行事名	場所	参加者など
30年4月26日	第11回福岡・北九州支部合同ゴルフ会	ムーンレイクゴルフクラブ・鞍手	16名参加(福岡支部より6名参加)
5月19日	第8回箭山如水会福岡支部総会	ソラリア西鉄ホテル	35名参加
9月22日	日帰りの旅・糸島	伊都の湯どころ・元気クラブ	12名参加
9月29日	箭山如水会北九州支部総会	ラ・メール雅 (門司)	福岡支部より4名参加
10月24日	第12回福岡・北九州支部合同ゴルフ会	福岡国際CC・中山コース	15名参加(福岡支部より7名参加)
11月10日	箭山如水会本部総会	グランプラザ中津ホテル	福岡支部より6名参加
31年1月26日	沖代会・役員新年会	天神テルラ「花万葉」	14名参加

### 箭山如水会福岡支部役員会

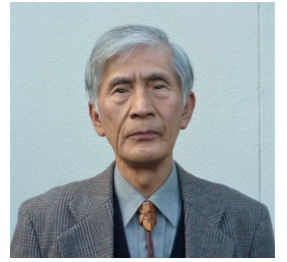
年月日	行事名	場所	参加者など
30年4月25日	総会準備打合せ・決算報告	天神「西鉄ソラリヤ・トランスブルー」	11名参加
6月25日	総会反省会及び旅行打合せ	さかな市場博多筑紫口店	13名参加
12月5日	忘年会・ベストフレンズ18号原稿依頼	さかな市場博多筑紫口店	13名参加
31年1月26日	新年会・総会打ち合わせ・役員人選	天神テルラ「花万葉」	14名参加

## 本部総会・母校創立記念式の報告

箭山如水会本部会長 木村 朋昭(40年機械科卒)

本部総会懇親会ならびに母校創立10周年記念式典開催の報告「ベストフレンズ」18号の発刊に心よりお慶び申し上げますとともにこれまでのご労苦に対し感謝申し上げます。また、福岡支部役員の皆様には平素より同窓会活動にご尽力頂き衷心よりお礼申し上げます。さて、母校は平成21年4月にそれまでの中津商業高校と中津工業高校を発展的に統合し、旧中津工業高校が設置されていた如水の地に「総合選択制高校」として設立されて昨年4月に母校創立10周年の節目を迎えました。記念式典は11月10日(土)、同窓会総会懇親会開催の当日、午前10時から母校体育館で生徒、教職員、来賓出席で盛大に開催されました。とくに、在校生の規律ある態度には大変感動し出席者からも絶賛の声でした。今後新たな歴史を切り拓いてくれることを確信しました。平成30年(第9回)中津東高校同窓会「箭山如水会」本部の総会・懇親会は11月10日(土)グランプラザ中津ホテルにおいて、同窓会員の他、各支部役員や恩師、学校関係のご来場をいただき、総勢300有余名が出席して盛大かつ有意義に開催することができました。福岡支部からも中野支部長をはじめ6名のご出席をいただき、とくに中野支部長には本部総会来賓祝辞もお願いいたし重ねて御礼申し上げます。本年度の本部懇親会は昭和55年の卒業生を中心に実行委員会を発足して準備を進めてきました。開催にあたっては中津市内の多くの企業・商店等より広告の協賛を頂きましたことも付記しておきます。さて、総会では、会務報告、決算報告、監査報告、31年度事業計画及

び予算案について審議頂き、新会長に木村朋昭(40年機械科卒)の選出に承認をいただき懇親会会場へ移動しました。今年の懇親会では当番生が司会、進行を受け持ち、母校の紹介では佐藤校長より母校創立10周年記念行事、本年在校生の進路状況、部活動の活躍を報告いただき、小倉佳二氏(37年商業科卒)のご祝儀舞(黒田武士)、西部支部長の舛川貞夫氏(39年商業科卒)の乾杯で宴会が始まり、市職員音楽部の演奏、キングレコード所属の末次恵子さんの歌謡ショー、琉球太鼓、昨年卒業の元永航太さんの演歌、実行委員で企画したお楽しみ抽選会などで会場はとても盛り上がりました。締めは市職員音楽部の伴奏で新中津東高校、旧中津工業高校、旧中津商業高校(旧中津東高校)時代の校歌を斉唱し、次期実行委員の昭和



56年卒業生に引継ぎ、木村朋昭新会長の万歳三唱で閉会しました。最後になりましたが、福岡支部の益々の発展と会員皆様のご健勝をご多幸を心よりお祈り申し上げ、総会懇親会の開催及び新中津東高校創立10周年記念式典の報告とお礼とさせていただきます。



## 関西支部便り

関西支部長 小倉 利幸(37年商業科卒)

福岡支部の皆様、ご健勝でお過ごしのこととご拝察申し上げます。この度のベストフレンズ18号ご発行を祝して心よりお慶びを申し上げます。さて、関西支部の第7回総会懇親会も平成30年6月2日(土)アークホテル大阪心斎橋に於きまして、ご来賓の野中本部長、高畑本部副会長、松林本部副会長、佐藤母校校長、そして、キングレコード所属の同窓生末次様をお迎えし、総勢35名の集いでしたが無事晴れやかに開催することが出来ました。これもひとえに関西支部会員及び本部関係者の支部同窓へのご関心ご理解ご協力の賜物と支部幹事一同深くして感謝いたしております。総会は速やかに終えて二部の懇親会では野中会長のお得意の詩吟から幕を開けて末次様の歌謡ショー、飛び入りカラオケ大会、ピンゴゲーム等へと進み、みんな熱く燃えて賑やかに宴を終えました。関西ではスポーツの華は野球です。校長のご挨拶の中で今年は練習試合ながらも県下の有力校に勝ちましたので甲子園も夢ではないとのことでしたのでかなり期待しておりましたが残念でした。今年こそ夢が実現できますよう高齢化しつつある関西支部会員一同はお祈りしております。ところで

支部の現状ですが年々参加者、会員数が減少してきていますが高齢者が多くて若い現役組がおりませんので先行き寂しい限りですが行けるところまで行くしかありません。合わせてもうひとつの課題は支部長後継者が現時点でおられないことです。尚、部会活動の京都鴨川ウオーキングは10月17日又ゴルフコンペは11月6日予定通り同窓の秋の楽しみを終えました。最後に福岡支部の益々のご発展と皆様のご健勝とご活躍をお祈りしています。



協賛広告ありがとうございます

祝!ベストフレンズ18号発刊

本部会長 木村 朋昭(40年機械科卒)  
中津市三光土田 電話:090-4733-8122

箭山如水会福岡支部  
支部長 中野 久米夫(45年商業科卒)  
糸島市 電話:092-324-8640

## 第8回関東支部総会便り

関東支部 幹事長：花水 正平(32年商業科卒)

「ベストフレンズ」18号の発行を祝し、心よりお慶び申し上げます。さて、当支部の第8回定期総会は、本部の野中忠昭会長他役員と母校の佐藤扇太郎校長をお迎えして、平成30年9月8日(土)アルカディア市ヶ谷で総勢43名が出席し、賑やかに楽しく開催しました。総会は、中山康隆(51年土木卒)さんの司会により進められ、4議事すべて承認されました。そして、ご来賓の野中会長並びに佐藤校長より本部と母校それぞれに故郷中津の現況報告がありました。懇親会は名詞子で元気な二宮義文(38年機械卒)さんとお小野勝正(47年機械卒)さん両名の司会で進められ、本部の木村朋昭事務局長よりホームページのPRがあり、ご挨拶を頂きました。お楽しみのイベント恒例のビンゴゲームは、女子会員(38年商業卒)により楽しく進められ、安心院の焼酎やお菓子の景品が当たる毎に歓声が上がり、ご来賓の3名も見事にゲットされ笑顔で終わりました。カラオケ大会は、エントリーが多く野中会長も自慢の歌を披露され、佐藤校長も初めて女子会員とデュエットで歌い大拍手を受けました。最後は、「ありがとう感謝」を恒行和美(36年機械卒)さんが身振り手振りで熱唱し、最高に盛り上がりました。それから全員で旧中津東高校校歌と中津工業高校校歌を声高らかに斉唱し、再会を契い笑顔で散会しました。し

かし毎年書いていますが、当支部の最大の課題は、会員の高齢化と減少、そして若い会員の参加も皆無で年々厳しい状況で対応策もなく頭を痛めています。役員・幹事は体力及び気力の続く限り、頑張りたいと思っています。結びに、福岡支部の益々のご発展と会員皆様のご健勝とご多幸を祈念し、当支部のご報告と致します。



第8回中津東高等学校同窓会関東支部総会  
平成30年9月8日 アルカディア市ヶ谷

## 北九州支部便り

北九州筆頭副支部長 成重 欽吾(39年商業科卒)

福岡支部会員の皆様ご健勝でお過ごしのこととお慶び申し上げます。今回の「ベストフレンズ18号」の発行を心より祝してお慶び申し上げます。毎回の発行で18号となり各支部情報や本部の出来事や色々な行事の様子など「ベストフレンズ」により知る事が出来誠に感謝致しています。さて、北九州支部も平成30年9月29日(土)に「ラメール雅」を会場にして中津東高校長、中津本部役員8名、福岡支部役員3名、西部

支部1名、北九州支部役員及び会員34名、合計46名の参加者で総会が盛大に行われました。プログラムの演目はカラオケ・バナナの叩き売り・ビンゴゲームと順次行われカラオケは役員、会員多数の参加で各自の美声が聞かれ、又バナナの叩き売



りは好評でした。最後のビンゴゲームも大いに盛り上がり総会が無事終了出来ました事に感謝致しています。平成31年1月27日(日)には本年最初の役員会と総会の慰労を兼ねて新年会を実施され総会で美声を発揮出来なかった会員役員の歌声が聞かれストレス発散となり本年総会への出発点とする事が出来ました。尚、3月下旬頃の日曜日に花見を小倉城庭園にて実施いたしますので他支部からの参加も歓迎致しますので多数の参加をお待ちしています。



協賛広告ありがとうございます

「箭山如水会」に乾杯！  
中津東高同窓会関東支部  
幹事長 花水 正平 (32年商業科卒)

祝！ベストフレンズ18号発刊  
顧問 伊東 秀則 (30年機械科卒)  
春日市上白水 電話：080-2792-8863

## 第11,12回福岡・北九州支部合同ゴルフコンペ開催 城戸崎 重夫(40年商業科卒)

この合同ゴルフ会は毎年春と秋の2回開催しています。平成30年は、第11回を4月26日(木)に「ムーンレイクゴルフクラブ鞍手コース」で、第12回を10月24日(水)に「福岡国際カントリークラブ・中山コース」で開催しました。結果は下表の通りです。特に福岡国際はかつて女子プロが熱戦を繰り広げた所で、記憶が鮮明な方も沢山いると思います。当日は絶好のゴルフ日和となり、楽しいゴルフ会となりました。プレー終了後、クラブハウスで表彰式を行い、次回の再会を誓い散会しました。新会員の入会大歓迎です。特に女性の方も参加して頂くと、もっと盛り上がると思いますので期待しています。ゴルフは高齢になってもプレーする方が沢山います。健康と元気をゴルフでキープしましょう。今年も4月に実施予定ですので多数の参加を期待しています。



	第11回ゴルフ会	第12回ゴルフ会
開催日	平成30年4月26日	平成30年10月24日
ゴルフ場	ムーンレイク・鞍手コース	福岡国際・中山コース
参加人員・組	16名・4組	15名・4組
優勝	前岡 正人 (福・30年機械科卒)	荒川 員允 (北・33年商業科卒)
準優勝	竹丸 数哉 (北・34年機械科卒)	鴛海 哲明 (福・42年商業科卒)
三位	小関昭太郎 (福・33年商業科卒)	岡本 紘一 (北・34年冶金科卒)



### 第11回ゴルフコンペ優勝の弁 福岡支部 前岡正人(30年機械科卒)

第11回は、昨年新たに就任した新会長、新世話人の最初の会です。皆さん新しい意気込みで参加しているように感じます。参加者は4組16人、ムーンレイクゴルフクラブ鞍手コースで、最高と思われるゴルフ日和です。私は81歳となり優勝は全然意識外のスタートでした。2組目のスタートで同伴者は優勝数回の用正さん、成重さん、世永さんです。用正さんのロングドライブに力の差をいやと言うほど感じながらのラウンドでした。思いがけなく45のスコアでハーフを終わりに上出来でした。最近のラウンドの状況から後半は崩れることが予想

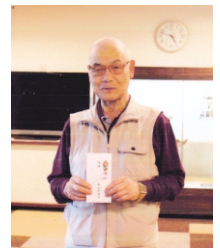
されます。予想通り後半は崩れて52でした。プレイ後に表彰式の会場に行くと、プリントアウトが配られており、優勝となっていました。ビックリです。よく見ると上位3人が同スコアです。年齢上位での優勝でした。私は、第2回から10回まで世話人をして、そのため毎回の参加でしたが優勝には全然手が届きませんでした。今回はこの年齢で優勝です。もう二度とないと思いますが、今後も毎回の参加を目指し、挑戦はずっと続けたいと思います。



### 第12回ゴルフコンペ優勝の弁 北九州支部 荒川員允(33年商業科卒)

皆さんお元気ですか、もうだいぶ昔のような気がします。一度優勝して此の「ベストフレンズ」に載せてもらった事がありますが優勝は何回しても嬉しいものだ、特に同級の連中と廻ると緊張感と云うものが抜けて、又一段と違ったゴルフが出来るから楽しい。次回も元気で又、逢おうと握手で別れるが、数日が過ぎて、当分の間、目をとじると、青春時代の過去が、懐かしく思い出され、しばし童心に帰ることができる。私は自動車通学だったので、季節によってはデッキで立ちっぱなしも多かった、目や鼻、口で良く煤煙を食らったものだ、又中津駅から学校まで、舗装道が割と多かったので私のすり減った下駄の音が、カラン、コロンと大きく今でも耳に残っている。旧四日市町と云う所からの通学で朝が早かったので昼弁当は2時間目が終わった10時頃だろう教室の後ろの方でおかずのやりとりをしながら食ったのだ、帰りはもう腹が減ってたまらず、三毛饅頭や、回転焼を良く買って食べた、今では良かったことも、あまり感心できなかったことも、すべてが、良き思い出として、自分なりに回想できることが心地良い、もともと遊びのつもりで始めたゴルフですが今ではこの年になるといつ

のまにか「健康の為」になっている。家内もそここのところ多少なりとも承知しているようで、コースに出る時はいくら早朝でもあったかい食事を作ってくれる。だから此の言葉を盾として言いたくないが、年輩のゴルフ家なら皆さん心に思っている言葉でしょう。私もそうは信じているものの永年かかりつけの医者は、ゴルフは同じ方向ばかりの動作なので、身体を痛めることが多くあるから一概に「健康の為」とは云えない、ほとんどにしかかや永くは続かないよ、とちょっと昔に云われた事を思い出す。当時は自分もゴルフをするくせにと軽く聞き流していたが、現実には腰、足、腕等の古機能に少しガタがきてしまったのか、医者の方の云う通りになってきた事が少し悔しい、でもまだまだ身体の動くかぎり、お世話をして下さるまわり人達に感謝の気持ちと信念を持って続けたい、そして又次回のコンペで皆さんの笑顔に逢える事を楽しみにしています。



協賛広告ありがとうございます

平成30年10月那珂川市になりました

顧問 前岡 正人 (30年機械科卒)  
那珂川市恵子 電話:092-408-7736

祝! ベストフレンズ18号発行  
副支部長 小関 昭太郎 (33年商業科卒)  
福岡市城南区 電話:092-861-0607

## たった5人の同期会

前岡 正人(30年機械科卒)



私達、昭和30年機械科卒の同期は2クラス81名です。当時の校名は「中津東高校」と現在と同じです。私達、機械科の同期会は、平成25年8月に卒業58年ぶりの第1回「喜寿同期会」を中津の割烹「丸清」で行い、その後、毎年実施し、第3回「傘寿同期会」まで行いましたが、参加者が激減し、この会を最後に正式な同期会は中止することにしました。平成28年11月に中津在住3人、別府1人、福岡1人計たった5人で同期会をしようと思立ちました。健康に自信がないなどの方が殆どで、酒は飲めない、1泊はやめようとなり、天気の良い日に懐かしい耶馬溪の散策等をして旧交を暖めることにしました。中津のO氏が車を出してくれることになり、11月16日中津駅に集合、まず、深耶馬溪に向かった。天気は快晴・秋の空がきれい。一目八景を目指す。丁度紅葉のきれいな時期です。期待に胸を弾ませながら一路国道212号線を進み最近出来た自動車専用道路に向かう。この道路は、中津から日田につながる自動車専用道路の一部で、まだ記憶に新しい耶馬溪地区の大水害時は、大いに活用され助かったとのこと。こんな話をしながら自動車専用道路に乗り入れ近道をする。久しぶりの深耶馬溪の一目八景は、沢山の観光客がおり、順番を待って記念写真を撮る。次は耶馬溪ダムに向かう。国道をしばらく走った後、山道に入りしばらく紅葉の景色の中を走るとダムが見えてきた。このダムは、洪水調整・水道・工業用水・発電等を目的とした多目的ダムで、昭和60年完成で、湖面では水上スキーなど盛んに行われているのをテレビで見た方も多と思います。天気が良いので素晴らしい湖面を眺めながら写真を撮り風景を楽しむ。さらに、ダムの下流川にまわると堤高62mのダムの下側に出る。ここには、耶馬溪ダム記念公園「溪石園」があり桜等の樹木、池、岩、瀧等を配している公園で自然の美しさを堪能。この、すぐ近くにあるひなびた食堂「天雲龍」で山かけそばを食べる。山芋が本物なのか風味がよく忘れられない昼食となった。山道を秋の景色を楽しみながら、次の目的地八面山に向かう。山道をしばらく走ると早くも八面山の麓にある、「八面山平和公園」に到着。この公園は、昭和20年5月7日に八面山上空で日本の戦闘機が米国のB29爆撃機に体当たり、両機とも墜落、尊い命が失われた。戦後人類に国境はないと米軍兵士の霊を弔った公園である。当時、私は小学校3年生で、空襲警報が頻りに発令されるようになり学校には行かず自宅で過ごしていた。思い出すと、毎日、ラジオから空襲警報が流れ、豊後水道を北上との放送があり、やがて爆音がして、上空をB29が編隊を組んで1万メートル程の上空を悠々とキラキラ光りながら飛んでいくのを見かけるのが日課となっていました。日本の戦闘機が迎撃するのは見たことはありませんでした。B29は、機内の圧力や温度などの気圧制御が行われており、現在の旅客機のような機内空調が当時行われていたとは、驚きです。このような高空には、日本の戦闘機は、空調が行われていないため、飛行できず迎撃も限られていたようである。夜、空襲警報の後、飛行機の爆音や西の空の八幡方面と思われる空に探照灯の光や、高射砲の音などが響き、空が赤くなり空襲されたことが分かった。また、ほぼ、毎日の日課のようにグラマンが宇佐地方を急降下爆撃で攻撃しているのを海岸や田んぼの中から見ることが出来た。空襲警報が発令されても自分たちは爆撃されないと分かってくると、怖くなくなった。このような中、昭和20年5月7日B29爆撃機11機が宇佐海軍航空基地を爆撃後、八面山上空で、下関小月陸軍航空隊回天制空隊の双発機「屠龍」の村田曹長操縦機が飛来するB29爆撃機(4発)の先頭に体当たり、左側の翼約2.4メートルをもぎ取り、B29は八面山に墜落、8名戦死、3名はパラシュートで脱出した。(参考に大きさを比較すると、B29は全長30.18メートル、屠龍11.0メートル、ゼロ戦9.24メートル、ボーイングB777-300 73.9メートル、グラマンヘルキャット10.23メートル)この記念公園

散策後に車で山頂に向かう。しばらく、カーブの道を上ると展望台に出た。八面山園地・東側展望所の表示がある。右側方面にはダイハツ自動車の工場、左側に目を移すと遠くに豊前市方面が見えるが、この日は、かすんでおり展望は良くない。私が中津で住んでいた家からは八面山がよく見えた。あるとき、祖母が箭山で山津波があったとっていたのを思い出した。調べてみると、八面山にある大池には、80年ほどまえの昭和6年、この年は春から雨がが多く、梅雨に入ると毎日のように雨が降り続き、特に7月は豪雨の日が何日も続いたそうです。7月21日未明、ついに大池の土手が決壊したのです。土石流となって金色川を一気に流れ下り、被災家屋二十数棟、田畑・山林被害75ヘクタール、死者7名重軽傷者多数という大惨事となったのです。地区の人たちの復興への取り組みは早く、翌昭和7年に復旧工事に着手した。ただ、山の頂上部で大規模な土手を改築するという工事は困難を極めたが、昭和13年3月池の土手が見事完成した。土地の人が大事業を団結してやりとげたとのこと、すごいですね。八面山の頂上に、このような大きな池を作った先人たちの知恵と命をかけて守ってきた水利を尊敬しますね。眼下に見える景色も災害に見舞われたことがあると見直しました。八面山を後に、最後の目的地、母校中津東高校に向かいました。目的は、機械科の実習工場の機械類は、どのように置き換えられているだろうと興味を持ち、母校に見学を申込みをしました。丁度、翌日から文化祭が予定されていましたが、快く了承頂きました。母校は、はじめての訪問です。受付後、応接室に案内されました。驚いたことに、すでに、校長先生、教頭先生が応接室で待ってくださったのです。挨拶・見学の説明後現場に案内されました。廊下ですれ違う際に「こんにちわ」の生徒たちの挨拶が新鮮です。渡り廊下の踏み板の音など、懐かしい思いがよみがえってきました。旋盤等の工作機械場は、当時はベルトが沢山架かり機械を駆動していましたが、このようなものはなし、鍛造場では、エアーハンマーがあり、これは当時のものではと印象に残りました。この、エアーハンマーを使って卒業記念に作った、ピックルは今も大事に持っています。鋳物場は、以前溶解炉があり鋳鉄の鋳込みが出来ましたが、耐震強度が不足するため使用できなくなり、現在は、アルミを原料にした鋳物を行っているとのこと。その外、コンピューターを利用した機械や、パソコンなどもあり最新の教育を受けているようでした。最後に、再び応接室に戻り、大横綱双葉山の貴重な化粧まわしが飾ってある、その前で、佐藤校長先生にも入って頂き、記念に写真を撮りました。この母校の見学は、今回同期会一番の記念となりました。元気で又の再会を約し解散しました。



中央は双葉山の化粧まわし

平成29年11月15日

## 秋の日帰り旅行(伊都の湯どころ・元気クラブ)

河野 暢久 (50年電子科卒)

毎年恒例で一泊二日にて実施していました「秋の旅」を、今年は「お風呂とカラオケ」の日帰り旅行に変更し、9月22日(土)行いました。当日は、早朝より好天に恵まれ、集合場所の天神・日本銀行前に定刻集合。皆さんの今回の日帰り旅行に対する期待感が大いに伝わってきました。今回の目的地は大木顧問、中野支部長ご推薦の「伊都の湯どころ・元気クラブ」です。温泉の紹介は後程とし、総勢12名(現地集合1名)で天神を出発し、一路糸島を目指しました。経路は何故か「福岡マラソン」の道筋を通り、車窓から百道・姪浜・今宿の街並みを眺めながら、途中休憩と時間調整でお買い物タイムで「道の駅・伊



都彩々」に立ち寄りしました。皆さんは幾度も来店しているみたいですが、私は初めての立ち寄りでした。新鮮な野菜・豊富な海産物、新鮮な果

物どれもが安い!早速果物ゲット!ではいよいよ本日の目的地「伊都の湯どころ」に向け出発。九州大学伊都キャンパスの広大な敷地・施設にビックリしていると、なぜか大学の一部施設ではないかと勘違いしそうな「伊都の湯どころ・元気クラブ」に到着!。本日のメイン会場を貸切「カラオケ付き宴会場」に案内されました。すでにお食事の準備もできており、早速中野支部長の挨拶を皮切りに懇親会がスタート。お食事も美味しく、ポリウムも有り、お酒が入りしばし会話も盛り上がりました。いよいよカラオケタイム!皆さん歌を歌うのが好きな上に上手い。特に伊東さん、高倉さん、鴛海さんはマイクを離さない。私はカラオケが苦手なので、お奨めのお風呂を頂きました。お風呂も大浴場から露天風呂・五右衛門風呂・蒸し風呂・サウナ等とバリエーション豊富で、お湯は「伊都の豊富な天然地下水」を使っており、どこまでも柔らかく、澄み切ったお湯を心ゆくまで満喫しました。もうカラオケも終わったな?と思い、会場に戻りましたら、まだまだ絶好調!順番待ちで当分終わりそうにありませんでした。充分堪能頂き、ちょっと時間超過でお開きにしました。帰りの車中も会話が尽きず、糸島半島を観光し、中野支部長のご邸宅を拝見等楽しい一時を過ごしました。後日、判明した事ですが、幾人かは天神の日本銀行前で解散後に記憶を無くす位、疲れとお酒が効いていたようです。でも、全員無事に帰り着いていました。本当に楽しい一日でした。また、次回も参加させて頂きます。



## 大宰府の条坊と現在の道

森 正明(45年土木科卒)

### 1.はじめに

平成最後のお正月はNHK-TVのプラタモリを楽しんだ。大宰府の条坊の跡を辿るというもので、私のウォーキングルートに近いことから早速歩いてみた。2018年は大宰府史跡発掘調査50周年ということで、セミナーにも出かけ、条坊のことは聞いていたが、実際にそれを辿るのは初めてだった。私は土木技術者の端くれ。それも、道路の計画や設計が専門分野。つつい道路の計画を考えてしまう。大宰府後の道づくりは条坊の存在を考慮したのか?などである。

### 2.条坊は南北、東西に

大宰府の史跡調査は昭和43年に始まった。周辺に宅地開発が迫ってきたことなどからだ。更に、条坊が確認されるのは平成になってからだ。図は大宰府市による2011年の想定で、条坊は 2.5km四方に及び、東西南北に整然と配置され、中央を南北に貫く朱雀大路は幅70mもあった。これに、博多大津と呼ばれた博多湾方向から2本の道路(官道)が接続していたが、官道と条坊とは「V字型」に繋がっていた。これを確認したのがプラタモリだったのだ。

### 3.鉄道も、道路も条坊を斜めに

12世紀になって古都大宰府は役割を終え、次第に衰退。これに伴い条坊も荒廃していった。中世には東側官道を利用して日田往還が伸び、そして国道3号となった。明治になって鉄道が整備された。しかし、これらの道路や鉄道は、碁盤の目状の条坊(街路)を斜めに横切って行った。JR二日市駅は条坊の南西端を横切り、西鉄二日市駅は、条坊の中央部にあったとされる客館跡をかすめた。東側官道を流用した明治の国道3号は、そのまま条坊を斜め突っ切り、昭和に新設された6車線のバイパスは政府の大門前の近くまで迫った。

### 4.水城の開口部は最小限に

このように書くと、「だから公共事業は・・・」と非難されそうだが、条坊が確認されたのは2000年代。大宰府調査が始まった頃は、条坊を想定していたかもしれないが、確認されてはいなかった。文化財保護の心は水城の開口部を見ると明らかになる。条坊と違い水城はしっかり現認できる。だから、明治の国道3号は東側官道の開口部を通り、高速道路やバイパス、西鉄電車は御笠川開口部を通し、新たに「水城」を壊すことはなかった。今後もしっかり保存していきたいものだ。



大宰府条坊と西鉄操車場跡の位置 (矢印は鴻臚館からの道)

協賛広告ありがとうございます

箭山如水会福岡支部

幹事 河野 暢久 (50年電子科卒)

筑紫野市 電話:090-2852-8074

祝!ベストフレンズ18号発刊

副支部長 森 正明 (45年土木科卒)

筑紫野市二日市中央 電話:090-4358-4751

## 日本一長いお祭り巡幸「鶴市花傘鉾祭」

大塚 幸市 (50年機械科卒)

毎年8月の最終土・日曜日の2日間にわたって山国川の三口大井堰近くにある、八幡鶴市神社の「鶴市花傘鉾祭」が開催され市内19の各大字を一巡する形で、巡幸路はおよそ30km~40kmに及び巡幸距離の日本一長い神幸が行われます。この神幸祭の歴史は、今から約900年前の保延元年(1135年)に山国川の度重なる洪水による井手の決壊を解決すべく堅固な井堰を築造することを、当時一帯を治めていた湯谷弾正基信他6人の地頭が協議し、推古天皇朝の故事



に倣って人柱を立てることが発議されその人柱になった湯谷弾正の妻子である、お鶴・市太郎親子の霊を慰めると

共に当年の豊作を祈願するためのものとされ、長寛2年(1164年)から始まった様です。明治維新までは湯屋、藍原、万田、高瀬の4カ村の祭礼だった様ですが維新後に大井手の灌漑の益に浴する市内の14大字が加わり、計19字の傘鉾となって沖代平野を巡幸する現在の形になった様です。話しが外れますが、私はこの祭りの巡幸が丁度我が家のそばに来た時に産声を上げたと言われており、祭りにちなんで私の名前の市の字を市太郎さんから頂いて付けたと親から聞かされました。そのせいなのか、傘鉾となると小学生の頃は夏休みに入るとすぐに祭りのお囃子の練習から始まり、本番の祭りが終わるまで宿題そっちのけで遊んでいたことを思い出します。さて、私の調べた範囲では近年の洪水による堤防の決壊は記録されていますが大井堰の決壊は見当たりませんでした、これもこのお祭りに込められた慰霊、豊作祈願のお蔭なのかもしれません、近くに行かれた際は「八幡鶴市神社」に立ち寄りしてみてくださいは如何でしょうか。



## 「私の独り言」

本部事務局長 森山 良一郎 (47年化学工学科卒)

「ベストフレンズ」18号の発行を祝し、心よりお慶び申し上げます。また、福岡支部の積極的な同窓会活動の取り組みに心より敬意を表します。現在、中津東高校同窓会(箭山如水会)の事務局長として活動をさせて頂いています。今回は65歳まで歩いてきた我が人生を紹介することを寄稿したいと思います。中津市東浜で昭和28年10月に森山家の長男として生まれました。当時の出来事とは、NHKのテレビ放送開始、奄美諸島が日本に返還、10円硬貨発行などがありました。幼稚園の時、父が急死したことで人に言えない貧乏生活を子供時代に経験しました。昭和30年~40年代は田畑を耕すために各家では牛馬を飼っていましたので、学校から帰って勉強より牛の餌(草)を切りに行くのが日課となっていました。少年時代は大変なガキ大将で小学校の頃は同級生を殴り怖がられ、怪我をさせ母親と何度も謝りに行きました。小学校4年から高校3年までは新聞、牛乳配達や牛の世話をするなど、今思えば人生で一番頑張った時で、その経験が後に活かされ自分なりの責任感が出来たと思っています。昭和47年に旧中津工業を卒業しましたが、オイルショックで求人も少なく、三菱化成からの応募も急に取り消しとなりました。2年間、別の会社に勤めましたが、希望していた旧吉富製薬の途中採用があり入社しました。20代の前半は草野球や暴走族に夢中になり、仲間20台の先頭を走り街中(日之出町)等を暴走して住民に大変迷惑をかけていました。吉富工場の製造現場から本社転勤となり大阪でコンピューターの業務に携わりました。その後、吉富工場に戻り36歳で労働組合の専従として15年間組合活動に従事しました。組合員1300人の支部長として旧ミドリ十字との合併での会社との交渉、上部団体の役員(福岡支部議長)、福岡地方労働委員、選挙運動を通して多くの方と知り合いました。最後は大阪の門真に単身赴任して、大阪の繁華街(北新地)、東京の銀座、北海道すすきの、中洲をさまよって歩き、業種を問わず何千人の方と酒を呑み人生を語り合いました。付き合った人は大手組合の役員、国会議員、

弁護士、大学の教授、会社幹部等で、その間は色々苦勞がありましたが、自分の人生の中で一番充実していた時期だと思います。勿論、家族は妻に任せきりで、子供3人の教育は二の次の生活でした。このことで人生勉強ができ裏表を知り人との交わり方や人を見る目も養うことが出来ました。このような経験がないと同窓会の事務局長を引き受けることは出来なかったと思います。出会った人達を尊敬し大事にすることを心掛けたことで多くの仲間巡り会うことが出来ました。これからも同窓会活動においても多くの出会いがあると思いますが、これまでの経験を活かし、いつも謙虚な気持ちで活動を展開したいと思っています。私は温故知新という言葉が好きで、良い伝統は継続し、時代に応じて変えるべきは変え年配者や若い人から好かれる同窓会を目指したいと考えています。木村新会長のご指導の下、各支部との連携を深め、同窓会を発展させて参りますので、会員の皆様の力強いご支援・ご指導を宜しくお願い申し上げます。最後に福岡支部の益々のご発展と皆さまのご健勝ご活躍をお祈り申し上げます。



「日本遺産」認定、ふる里

”中津耶馬溪”への旅に 出かけましょう!!

祝! ベストフレンズ18号発刊

本部顧問 野中 忠昭 (36年商業科卒)

中津市三光臼木 電話:0979-43-5495

—— 協賛広告ありがとうございます ——

箭山如水会福岡支部

幹事 大塚 幸市 (50年機械科卒)

福岡市早良区 電話:090-4772-5309

# 国指定重要文化財 旧福岡県公会堂貴賓館 高橋 和昭 (42年商業科卒)

福岡市中央区西中洲にレトロな洋館があります。国指定重要文化財の旧福岡県公会堂貴賓館です。私はここでガイドをしています。約30名のボランティア会員が交代で担当しています。平成14年、当時私は在野の歴史家故青木晃先生の学習会に参加していました。この時、福岡県教育委員会から旧福岡県公会堂貴賓館(以下貴賓館と称する)に民間ボランティアガイドを導入したいので協力してほしいと依頼があり、有志がガイドの会を立ちあげました。私も参加しました。それまでは、貴賓館はすでに公開されていましたが、定年退職した県庁OBが受付窓口にいるのみで、案内もなく、入館者も少なく、知名度も乏しく、教育委員会も民間の活力を導入して活性化を計ったわけです。こうして貴賓館でのガイドが始まりました。今では、国(文化庁)が重要文化財は保護、保存だけではなく、民間の活力も利用し、積極的に活用、観光に活かすよう方向転換したこともあり、貴賓館運営も入札による民間業者の指定管理者制度が導入されています。これによって、貴賓館もビデオや四ヶ国語(日本語・英語・中国語・韓国語)の音声案内や案内板などが設置され、明治時代の様子の復元映像、復元された明治時代のドレスを着用しての写真撮影、館内でのコーヒーやショートケーキなどの飲食もできるようになり、テレビや新聞、観光案内や情報誌にも取りあげられ、天神のそばでもあり入館者も増加し、ガイドも賑わっています。結婚式の前撮りにもよく利用されています。貴賓館は、福岡市中央区天神のアクロス福岡の南の天神中央公園の東の薬院新川と、那珂川にかかる福博であり橋の間(西中洲の三角洲)にあり、数少ない明治時代のフレンチルネッサンスを基調とする木



造公共建物として貴重な国指定の重要文化財です。建てられたのは明治43年(1910)で、福岡城の外堀(肥前堀)周辺を埋め立てて開催された第13回九州沖縄8県連合共進会の来賓接待所を兼ねて建設されました。付属の公会堂(今はない)では舞踏会や夜会、演奏会、講演会などが催されていました。設計は福岡県土木部技師の三條栄三郎で、建築業者は岩崎組(現在の岩崎建設株式会社)です。閑院宮ご夫妻や皇太子殿下(のちの昭和天皇)ほかの高貴な方が宿泊なされており、中国の孫文も辛亥革命後に来館しています。福岡県立公会堂貴賓館として利用されていましたが、昭和10年代末頃に陸軍の福岡聯隊区司令部となり、昭和20年の福岡大空襲にも奇跡的に被害を受けずに残りましたが、戦後は厚生省福岡地方世話部、福岡県民生部世話課、福岡高等裁判所、福岡県立水産高等学校、福岡県農林事務所などに次々と転用され、昭和31年からは福岡県教育委員会庁舎として使用されてきました。その後、博多区東公園に福岡県庁新庁舎が建設され、アクロス福岡の場所にあった県庁が移転、昭和56年に福岡県教育委員会も新庁舎に移転しました。空家となった建物の解体に市民の保存運動が起こり福岡県は文化財としての価値を調査。昭和59年国の重要文化財に指定され、昭和62年明治の貴賓館時代への修復工事が完了し公開開始。平成14年にはボランティアによるガイド開始。平成17年福岡西方沖地震で被災し休館。ガイドも中止を余儀なくされましたが、平成20年修理事業が終了し一般公開再開。ボランティアガイドも復活しました。皆さん、ぜひ貴賓館へ足を運んでみてください。福岡市天神のそばで静かに佇む重要文化財のレトロなフレンチルネッサンス調の貴賓館が、ガイドの解説を聴きながら貴賓館の歴史に想いをはせ、コーヒーを飲むあなたを優しくつつんで癒してくれます。



## 編集後記

城戸崎 重夫 (40年商業科卒)



ベストフレンズNo18号をお届けします。

皆様方のご協力によりベストフレンズNo18を発行することができました。寄稿頂いた会員の皆様及び役員各位の賛助広告には厚くお礼申し上げます。ベストフレンズは箭山如水会員同士の活動情報誌として、大きな役割を果たしています。これからもベストフレンズが箭山如水会の情報発信元となり、更に充実した情報誌として一人でも多くの会員の皆様にご拝読頂ける様、取り組んで参ります。

協賛広告ありがとうございます

### 祝!ベストフレンズ18号発刊

顧問 **梶屋 孝太郎** (26年商業科卒)  
福岡市東区名島 電話:092-662-0786

### 箭山如水会 福岡支部

顧問 **大木 敦夫** (36年商業科卒)  
福岡市城南区 電話:092-861-5053

### 祝!ベストフレンズ18号発刊

幹事 **鴛海 哲明** (42年商業科卒)  
福岡市早良区 usasuminoe2@mue.biglobe.ne.jp

### 経営のパートナー 税務・経理支援

代表 **城戸崎 重夫** (40年商業科卒)  
福岡市東区唐原 電話:090-4581-7676